

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和2年 12月 29日
住 所 埼玉県さいたま市見沼区東大宮5-18-2
県内企業等の名称 武蔵オプティカルシステム株式会社
代 表 者 氏 名 代表取締役 持田 一史

武蔵オプティカルシステム株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「人材は宝」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に
事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	【廃棄物】 一般廃棄物と産業廃棄物の管理を適正に行い、適正な処理に取り組む。 <2020年度> 廃プラスチックごみ年間排出量 0.364(t)	<2030年に向けた指標> 廃プラスチックごみの排出量を10パーセント削減 <取組開始3年後に向けた指標> 廃プラスチックごみの排出量を5パーセント削減
社会	【労働時間・安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、長時間労働の抑制に取り組み、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組む。 <2020年度> 時間外労働年平均 15時間	<2030年に向けた指標> 時間外労働時間を年平均で7時間削減 <取組開始3年後に向けた指標> 時間外労働時間を年平均で3時間削減
経済	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品の開発に取り組む。 8Kレベル硬性内視鏡向け光学レンズ開発 (0台)	<2030年に向けた指標> 8Kレベル硬性内視鏡向け光学レンズの量産化(10台) <取組開始3年後に向けた指標> 8Kレベル硬性内視鏡向け光学レンズの試作品生産(2台)

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。